八代小授業の７つの約束

１　次の授業の準備をして休み時間
２　気をつけの姿勢で目を見て挨拶
３　グー・ペタ・ピンを守って授業
４　大きな声で「はい」と返事
５　手を挙げ、「です。ます。」まで
６　先生や友達の話を最後まで
７　使ったものは、もとの場所へ

「雰囲気」を吸って育ちます・・・

先日、ある教育講演会に出かけました。その中で、長年にわたり「学童保育」の指導員をされているおばあちゃんが、次のような話をされました。

「私は、長年子どもたちに関わっていますが、子どもは、親が作る家庭の雰囲気をそのまま表しているように思います。トラブルの原因を周りにばかり求める親の子どもは、やはり友達に攻撃的です。放課後の限られた時間を預かる学童保育ですが、子どもたちが優しく思いやりのある子どもに育つように、私たち指導員が、優しく穏やかな気持ちを持って接するように心がけています。」

私は、この話を聞いて教職についた頃の苦い経験を思い出しました。担任していた五年生のその学級には、正義感が強く、友達に優しく接することの出来る男の子がいました。当然周りの級友から慕われていました。ある日、私はその男の子を激しく叱り付けました。普段の優しさが偽善的であるかのような言葉まで投げつけました。

しかし、その後トラブルの原因が他の児童にあることが分かりました。強い後悔の念を抱えながら、家に向かいました。家庭訪問先で、しばらく私の話を聞いておられた家庭は、私のミスを責められず、謝罪のためにご両親に対し、労いの言葉を掛けて訪問をしたことに対し、体の緊張が解けていくのが分かりました。少しずつ、今思えば、その男の子の誰からも好かれる性格の理由は、ご両親の作る家庭の雰囲気にあったのかもしれません。

芸術の秋　心地よい時間を過ごしました

十一月九日（月）、学校の体育館がコンサートホールになりました。応募した文科省の事業の一環として、関西からプロの合唱団「関西二期会」の皆さん、二十五名が来校されました。

二時間ほどのステージでは、有名な童謡や子どもたちの良く知っているアニメの曲、そして有名なオペラの曲が続きました。思わず身を乗り出す子どもたちからは、「ブラボー」の声も飛び出しました。

各学級で練習してきたビリーブを一緒に歌った後に、サプライズがありました。なんと普段歌っている八代小の校歌を、混声四部合唱で歌われたのです。その歌声に、子供達もうっとりした表情になりました。その後合唱団の方と一緒に、校歌を合唱しました。子どもたちの歌声が、今までの中で一番すばらしかったことは、言うまでもありません。